

特集1

正しく知っておきたい！①

子供たちのインターネット利用の現状

流行のアプリ等を
追いかけるより **スマホの使い方や心理・感覚などに目を向けてみましょう**

子供たちに見られる現状や傾向に、どれくらい気づいていますか？

- テレビを見る時間より、ネットを使用している時間のほうが長くなっている
- テレビ番組を「テレビ」ではなく「スマホ」で視聴する傾向がみられる
- 定期考査や受験のための勉強に、スマホやタブレットを活用している
- 「スマホばかり」「スマホやめなさい」等の言葉に、ストレスを感じている
- 行動・言動・考え方等に、ネットから得た情報の影響を受けやすい
- 都合のいい情報を好み、都合の悪い情報を排除・無視する傾向がある
- 欲しいモノ・やりたいコトの情報に困まれ、小遣いが足りないと感じている
- ネット上で金銭やポイントを使う・受け取る・貯めることに違和感がない
- 写真や動画を共有することも、友達とのコミュニケーションになっている
- 同世代の子のSNSを見て、コンプレックスを感じてしまうことがある
- 1つのSNSに複数のアカウントを持ち、上手に使い分けをしている
- 同じ趣味や共通の話題で共感しあえる人を信用する傾向がある

みなさん自身が既に気づいていたことは、いくつくらいありましたか？「言われてみれば、なるほどと思った」という項目もあると思います。もちろん、年齢差や個人差もあるため、全ての子供に当てはまるわけではありませんが、特に仲間とのコミュニケーションが欠かせない中高生の場合、友達同士影響し合うことも多いため、似たような傾向が現れる可能性も高いと考えられます。

本事例集で取り上げた19件のトラブル事例も、上記の現状や傾向を重ね合わせながらお読みいただくと、より理解が深まります。学校や家庭では、大人目線ではなく子供の気持ちを想像しつつ話し合みましょう。

スマホは勉強や学習補助にも使われます、思い込みで叱らないで！



インターネットが当たり前にある時代に生まれて育った世代は、ネットを活用する術をいろいろ心得ています。勉強や試験対策にSNSや動画サービスを利用する子も増えており、「スマホを操作している」イコール「遊んでいる」と決めつけられ叱られると、腹が立つ・イライラするといった声も聞こえてきます。

また、ゲームで遊んでいることと、友人とのメッセージ交換を同じように扱うのもダメ。「いつまで遊んでいるの？」と「いつまで長話しているの？」との違いに気づけば、声のかけ方も違ってくるのではないのでしょうか。

ニュースもスマホで読む時代、新聞を読んでいるならOKなのに、スマホはダメ——そんな態度が続けば、子供の心が離れていってしまうかも。

気になるときは興味を持って尋ね、子供の使い方の把握に努めましょう。ネット関連の話題で会話をするのも、使い方を知るための有効な手段です。

ネットで会話を
楽しみたい

LINE

+メッセージ

Skype

他

ネットは子供たちの コミュニケーションの場

「発信した情報は拡散し、広く一般に共有される」のがインターネット。でも、子供たちは公の空間ではなく“プライベート空間”のように使うため、トラブルも起きるのです。そこで、どんなシーンで何をどう使うか、問題点は？等をご紹介します。

今の思いや
気持ち・考えを
つぶやきたい

Twitter

他

リアルなおしゃべりもネットを使う

『無料通話アプリ』『メッセージアプリ』『チャットアプリ』等と称され、仲間が多い世代の必需品。**連絡先を知る相手との1対1またはグループでのトークは非公開が基本**。閉じた環境のため安全な反面、悪口やいじめの温床になることも。一部のチャットアプリに起因するトラブルも増えている。

広く多くの人たちと情報交換

『SNS』の王道的サービス。基本的には公開で使われるが、**非公開設定も可能**。有名人の投稿を読むために登録すれば当然投稿も可能となる。不適切な投稿で炎上、ダイレクトメッセージ機能で直接やりとりしてトラブルに発展するなど、利用者が不特定多数なだけに気をつけたい点が多い。

自分を表現するステージ？

作品や思い出の**アルバムから“自己表現の場”へと目的が変わりつつあるサービス**。権利を気にせず使えるBGM等、10代が好む機能がいろいろ。アイデア次第で評価されることから撮影に夢中になり、生活に支障が出るケースも。顔や場所等の公開に関するリスクを考えながら使わせたい。

Tik Tok

SNOW

MixChannel

他

画像や
写真・動画を
見てほしい

その他、こんな現状にも 目を向けてみましょう

フリマ等への「夏休みの宿題の出品」が禁止になりましたが、何でもネットで手に入ることに年齢を問わず慣れが生じています。フリマでもゲームでも、利用しながら素性のわからない相手とやり取りできる時代、ネット上での行動・言動をいま一度真剣に考えてみる必要があります。

YouTube

ツイキャス

ニコニコ動画

他

動画を見たい
& 配信したい

【注】で囲まれた名称は、10代の子供たちに使われているサービスやアプリの一例です。各事例を読む際の参考にしてください。

子供に使い方を注意するのなら 大人たちもちゃんと使ってほしい！

「子供にダメだと言っているクセに、大人はやっている」という苦言は、数多くの小中高生から聞こえてきます。歩きスマホや食事中の操作、休みの日にはゲーム三昧という大人を見ていれば、「自分だってやっているのに、ズルい！」と反発されても仕方ありません。

自宅の中や子供の前はもちろんですが、家の外でも節度ある使い方を心がけましょう。大人は、子供の模範となる行動を！！



ワンポイント
アドバイス

子供の利用状況を観察し、ときには長時間利用による身体への影響を話し合ってみるなど、家族みんなで正しい使い方を工夫しましょう！